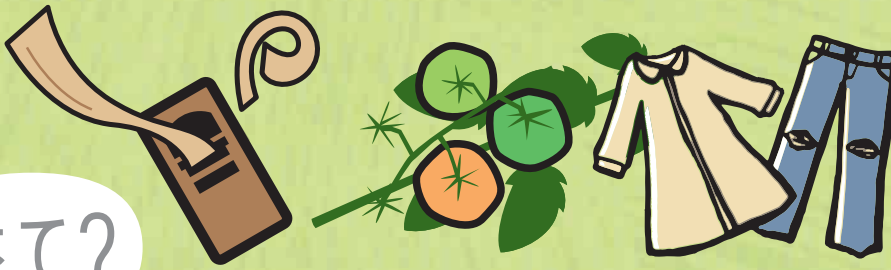


報道発表資料の配信日時 11月26日 (火) 10時00分

| | | | |
|------------------|---|------|--|
| 発表項目 (行事名) | 資源循環ワークショップセミナー 「はて？ アップサイクルって何？」の開催について | | |
| 記者レクチャー のお知らせ | (実施日時) | 発表者 | |
| | | 発表場所 | |
| 概要 | <p>【ポイント】</p> <p>循環型社会を実現していくためには、資源循環関連産業は、重要な役割を担っていますが、一般的に社会的認知度が高いとはいえず、全体のイメージ向上が課題となっています。</p> <p>そこで、学生を対象として、資源循環関連産業の仕事内容、先進技術の導入や環境保全に取り組む企業等に関する情報提供を行うことで、資源循環関連産業事業者への理解と次代の人材の育成・確保を促進し、業界全体のイメージアップを図ることを目的として、本事業を開催します。</p> <p>1 日時 令和6年(2024年)11月30日(土)13時～16時 2 場所 札幌国際ビル 8階 A会議室(札幌市中央区北4西4) 3 内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップ ～捨てられるモノをタカラモノに～ (株)アップサイクルホッカイドウ 代表 <small>よしだ ゆか</small> 吉田 友花 氏 ・製品ハンズオン展示 ～大地の恵みの "もったいない" を生かします～ (株)AgReturn (アグリターン) 代表取締役 <small>はら なおこ</small> 原 直子 氏 ・施設見学 ～あたりまえを、あたらしく……アップサイクルの取組～ (株)鈴木商会 取締役 <small>あべ じゅん</small> 阿部 淳 氏 | | |
| 参考 | ※ 参加者の募集は終了しております。 | | |

| | | | |
|-------------------------|------|------|--|
| 報道(取材) に当たって のお願い | | | |
| 他のクラブ との関係 | 同時配付 | (場所) | |
| | 同時レク | | |

| | | | |
|-------------|--------------------------------------|--------------|------------|
| 担当 (連絡先) | 環境生活部環境保全局循環型社会推進課 (担当者: 課長補佐 上野 洋一) | | |
| | ダイヤルイン | 011-204-5196 | 内線: 24-304 |
| | 公用スマホ | 011-585-6101 | 内線: 41287 |



野菜を無駄なく丸ごと食べる
スイーツなどが試食できます!!

はて?

資源循環ワークショップセミナー

アップサイクルって何?

アップサイクルのストーリービューイング!

「アップサイクル」って耳にしたことはありませんか? 捨てられるモノの価値をアップグレードさせる新しいリサイクルの取組です。

「アップサイクル」には、それぞれに固有の「ストーリー(魅力)」があります。
ワークショップや製品展示に触れて、そのストーリーを体感してみてください。

11/30

sat 13:00~16:00

会場 札幌市中央区北4西4 札幌国際ビル8F A会議室

対象 大学生から中学生までの学生(若者向け)

ストーリー①&ワークショップ 13:00~14:00

～捨てられるモノをタカラモノに～

ストーリーテラー: 吉田 友花さん 株式会社アップサイクルホッカイド代表
端材を活用する「アップサイクル」を広める活動をしています。
アップサイクルに取り組みきっかけや、日々どのように活動し、
廃棄されるものを新しいカタチにして販売しているのかをお話いたします。

ワーク 廃棄木材を削ったカンナ屑を使い、木の香りも楽しめる
ショップ 手のひらサイズのオーナメントを製作します。

ストーリー②&製品ハンズオン展示 14:00~14:30

～大地の恵みの“もったいない”を生かします～

ストーリーテラー: 原 直子さん (株)AgReturn(アグリターン)代表取締役
トマトの葉や茎などの残渣(ざんざ)を使った土にかえる容器の開発
の取組をはじめ、流通する前に廃棄されてしまう野菜の活用など
アップサイクルへの思いについてお話いたします。

ストーリー③&施設見学 14:45~16:00

～あたりまえを、あたらしく……アップサイクルの取組～

ストーリーテラー: 阿部 淳さん (株)鈴木商会取締役
道内を拠点に資源循環・リサイクルに取り組んでいます。高校やプロスポーツチームと
連携した不要衣類のリサイクル事業や、重機の遠隔操作システムについてお話いたします。



施設見学

「遠隔操作システム」
札幌のビルの一角から
苫小牧の重機を
操縦



北海道日本ハムファイターズとコラボして集めた古着を
ハンガーやコースターにアップサイクル!

藻岩高校の生徒が回収した古着を
ボールバックにアップサイクル!

申込方法

Google
フォーム受付

①学校名②学年③お名前④メールアドレス⑤メール以外の連絡先
①～⑤の必要事項をご入力の上、令和6年11月25日(月) 17:00までに送信いただくと
参加受付終了のメールが返信されます。

*参加受付は先着順となります。会場の定員に達した時点で、受付を終了させていただきますので、予めご了承ください。



主催:北海道 環境生活部 環境保全局 循環型社会推進課

お問い合わせ先:アド・ビューロー岩泉 TEL011-727-6001 Mail:recycle6@iwaizumi.co.jp